

第9回 日本ユング心理学会（JAJP）研修会のご案内

主催：日本ユング心理学会

日時：2022年9月11日（日）12：00-16：45

会場：オンサイト/京都リサーチパーク（京都市下京区中堂寺南町134）
オンライン/ZOOM

ご挨拶

すでにご承知の通り、当学会では、2012年4月の設立と同時に「認定心理療法士」資格の認定を開始し、以降、すでに55名の方がこの資格を取得されました。

この資格の創設は、それぞれの学会が認定する専門資格の役割が今後増すであろうという予測のもとで、ユング心理学に基づく心理療法家の育成・認定を目指すものです。またユング派分析家資格の要件のほぼ半分にあたるもので、手の届きやすい資格であると同時に、将来の分析家資格取得にもつながるものです。

2014年度より、本学会資格研修委員会では、会員の方々の参加を優先させつつ、心理臨床を実践しておられる方々にも広く門戸を開き、臨床の質を高めていくための研修機会を提供することを目的とし、第9回日本ユング心理学会研修会を企画いたしました。

内容といたしましては、本学会認定心理療法士資格をもつ講師による、理論と技法、双方の面でユング心理学の「基礎」を学ぶ分科会と、特定のテーマを設定した「事例検討」の分科会となっております。今年度も、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、オンラインでの聴講も選択可能といたしました。

奮ってご参加くださいますようお願い申し上げます。

2022年7月吉日

日本ユング心理学会
資格研修委員長 河合 俊雄

<開催要領>

1. 定員：250名

新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、会場に直接来場いただく「オンサイト」と、ZOOMでご視聴いただく「オンライン」聴講が選択可能な混合開催といたします。

2. 参加資格：以下の条件のいずれかを満たす方

- ①日本ユング心理学会会員
- ②心理臨床の実践に職業として携わっている方
- ③臨床心理学を専攻する大学院生

3. 参加費：学会員：4,000円 非会員：7,000円 大学院生（非会員）：5,000円

4. 研修内容：以下の6グループに分かれ、分科会を行います。

セッションⅠ（12：00-14：15）/セッションⅡ（14：30-16：45）

(1) セッション I (12:00-14:15)

● 〈事例検討1〉 河合 俊雄 (京都大学 人と社会の未来研究院)

【思春期の女子と夢・他者】

思春期においては、自分が確立していることを前提として他者、特に異性が登場し、それが特に女性においては怖い夢や追いかけられる夢に現れてくるのを検討したい。また前段階と考えられる課題が持ち越されている場合も多いので、それも検討したい。

事例発表者:長谷川千紘 氏

● 〈事例検討2〉 広瀬 隆 (帝塚山学院大学)

【夢やイメージを取り入れた医療現場でのセラピー:介入と関係性を巡って】

医療現場で、できる範囲で夢やイメージをセラピーの素材として用いる試みに挑戦するセラピストによるケース取り上げる。自己感に乏しく抑うつのであるクライアントが、「今ここ」にある自分を取り戻すプロセスである。それを支持したいというセラピストの思いが、言語でのやりとりだけでなく、夢やイメージという交流の場でも表現されていそうである。参加者のみなさんの感じも拾い上げながら、その展開や意味を追ってみたい。

事例発表者:小寺千恵 氏

● 〈基礎1〉 桑原 知子 (放送大学)

【教育現場の「光」と「影」—教師の傷つき、SCの無力感—(2)】

教育現場では、未来を背負う子どもたちに接し、子どもの「成長」という「光」があふれています。しかし実際には、教師やスクールカウンセラー(SC)は、さまざまな困難な状況に陥り、その結果、傷つきを感じたり、無力感にさいなまれたりすることが多いように思います。これは、教師もSCも同じように体験する、学校現場における「影」だといえないでしょうか?そこにはどんなことが起こっているのか。そして、そこから私たちはどのようにして立ち上がっていくのか、ともに考えてみたいと思います。このテーマで、ユング心理学会第10回大会においてワークショップをおこなったのですが、本研修会においても、もう一度このテーマにて、事例募集を行うこととしました。ぜひ事例提供をしていただき、皆でともに考えたいと思います。**※事例を募集します。教育現場で、ご本人が体験された事例であれば、どんなものでもかまいません。長い例でも短い事例でも、ワンポイントの検討希望でもかまいません。**

(2) セッション II (14:30-16:45)

● 〈事例検討3〉 岩宮 恵子 (島根大学人間科学部)

【虐待体験による解離へのアプローチ—『自我状態療法』とユング心理学の接点を探る—】

理不尽な虐待体験をそのまま自分の身に起きたこととして引き受けることなどとても不可能なことである。生きていくために解離という症状を形成することも多いが、それもまた本人にとっては苦しいことであり、傷が深くなる危険もある。

今回は、複雑性PTSD・解離性同一性障害と診断されたクライアントに対し、『自我状態療法』というアプローチを行った事例について検討したい。

そのプロセスを、元型や個性化といったユング心理学からの視座でどう捉えることができるのか、そこで得た知見をどう日頃の臨床に還元していけるのか考えたい。

事例発表者:西原詩織 氏

※〈事例検討3〉は、講師・事例発表者共にオンライン登壇となりますので、オンサイトで参加を希望される場合はサテライト形式での聴講となります。質疑応答等は、会場のマイク・カメラ等で行っていただけます。

● 〈事例検討4〉 田中 康裕（京都大学大学院 教育学研究科）

【プレイセラピーをユング派的に理解する—「プレイ」はそれ自体の解釈である】

ユングの夢に関するテーゼに「夢はそれ自体の解釈である」というものがある。この言葉は、ユング派心理療法の基本的な姿勢を示すものであり、そこでは、夢ばかりでなく、箱庭も描画も語りも、そしてプレイも、あらゆるものがそれ自体の解釈であると言えるだろう。とりわけ、プレイセラピーには、ユング派的なセラピストのコミットメントや意識のあり方が端的に表現されることが多く、この分科会では、上記のようなユング派心理療法の基本姿勢を提示されたプレイセラピーの事例を通して検討したい。

※プレイセラピーの事例を募集します。

● 〈基礎2〉 前川 美行（東洋英和女学院大学）

【イメージ表現と象徴性】

中井(1974)は、箱庭療法を「構成的空間」の場に支えられた「構成的」な表現方法であると述べている。さらに三次元空間である箱の中に距離や大きさに関係なく表現ができることも箱庭の特徴である。統合された空間表現を求められず、文脈や意味も不要で、作る作業そのものが変容を促すこともある。このようなことを考えながら、イメージ表現の展開と象徴性という視点から、ユング派心理療法の基礎を考えてみたい。

・中井久夫(1974)「統合失調症状態からの寛解過程」『分裂病の精神病理2』東京大学出版会

※夢・箱庭・描画などの表現のあるケースを募集します。

5. 参加・発表お申込みについて

【参加申込】

1) 申込フォームに必要事項をご記入ください。

当会ホームページ（ <http://www.jajp-jung.info/> ）および右記の QR コードからアクセスいただけます。

2) 自動返信メールの内容をご確認の上、参加費をご納入ください。

***outlook、hotmail、msn 宛でのメールがお届けできない事象が発生しております。**

登録いただくメールアドレスは、事務局のアドレスの【受信許可登録】を行っていただくか、上記ドメイン以外のアドレスをご使用ください。

*24 時間以内に自動返信メールが届かない場合は、日本ユング心理学会事務局（office@jajp-jung.info）までご連絡ください。

*感染予防対策の観点から当日参加受付はございませんので、期間内にお申込みの上ご参加ください。

3) 秘密保持に関する誓約書を提出してください。

参加申込後に誓約書フォームへの入力画面に自動的に移動します。内容を確認のうえ必要事項にご記入ください。参加申込時に提出できなかった場合は、自動返信メール内に記載されている URL または右記の QR コードより入力フォームにアクセスし提出をお願いします。

参加申込フォーム



誓約書提出フォーム



【事例発表申込】

申し込みフォームで希望する分科会を選択し、「事例発表を希望する」にチェックをしてください。

また、表示される記入枠に 100 字程度の事例の概要をご記入ください。

- ・ 事例発表者は原則オンサイトでの参加となります。
- ・ 発表は ZOOM を使用し、WEB カメラをオンにした状態でおこなっていただきます。
- ・ 発表に使用するパソコンにつきましてはご持参ください。（Wi-Fi 接続環境をご用意しております。）
- ・ オンライン参加者への資料配布は事務局より GoogleDrive（ダウンロード・印刷・コピー&ペースト禁止制限のうえ、インターネット上で閲覧可能）にて行います。

※レジュメ（Word 等の文字資料）がある場合は、画面共有のみでは画質や画面の大きさ等によって閲覧に支障がありますので、参加者に配布させていただきます。

※発表に際して使用できる映像機器は、液晶プロジェクターのみです。

※PC とプロジェクターとの接続は、原則デジタル出力（HDMI）となります。mac をご使用の方は、コネクタもご持参ください。

***発表申込**締め切り：2022年8月17日（水）

***参加申込**締め切り：2022年8月31日（水）

【その他、注意事項等】

- ・ お申込み受付は、原則として先着順とさせていただきます。
- ・ 申込後、参加費の納入と秘密保持に関する誓約書の提出をもって参加予約の完了とみなします。
- ・ 事例検討の分科会は、日本ユング心理学会会員を優先して受付いたします。
- ・ 希望者多数の場合にはご参加いただけない場合もありますので、予めご了承ください。
- ・ 研修ポイントについて、本研修会への参加は、日本臨床心理士資格認定協会の「臨床心理士教育・研修規定別項」第2条第3項「本協会が認める関連学会での諸活動への参加」の通り、ポイントが付与されます。*参加証は、研修証明書の代わりになりますので、大切に保管してください。
- ・ 申込者本人のみ、ご参加可能です。
- ・ 各分科会の教室、参加用リンク等については後日メールにてお知らせいたします。

◆オンサイト

- ・ 参加証、領収書等は当日受付時にお渡しします。
- ・ 新型コロナウイルスの感染が確認された場合、保健所等の公的機関からの求めに応じ、参加者の情報をお伝えする場合があります。

◆オンライン

- ・ 参加証、領収書は研修会終了後にメールにて送付いたします。
終了後に参加ログにて出席確認を行いますので、送付までにお時間を頂戴いたします。ご了承ください。

6. 参加費のお振り込みについて

自動返信メールの内容をご確認の上、2022年9月2日（金）までに、以下の口座へお振り込みください。

振込先：三井住友銀行 備後町（びんごまち）支店 普通 1795872 日本ユング心理学会

- ・ お振り込みは、必ず本人のお名前をお願いします（異なる場合は、事前にご連絡ください）。
- ・ 納入された参加費は返金できませんので、予めご了承ください。
- ・ 納入期限を過ぎて参加費の納入がなかった場合、申し込みを取り消させていただく場合がありますのでご注意ください。

7. 研修会に関するお問合せ先

日本ユング心理学会（JAJP）事務局

住所：〒541-0047 大阪府中央区淡路町 4-3-6
新元社内

e-mail：office@jajp-jung.info

8. 会場案内

京都リサーチパーク 1号館

住所：〒600-8813 京都市下京区中堂寺南町 134

京都駅より JR 嵯峨野線（山陰線）1 駅

丹波口駅下車 西へ徒歩 5 分

※その他のアクセスについては、京都リサーチパークホームページをご参照ください。

URL：<https://www.krp.co.jp/access/>

